

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援あんふいに					公表日	2026年 2月 16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法定基準を満たしたスペースを確保している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	法定基準を満たした人員を配置している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ロッカーへの記名、下駄箱へ足形を貼り靴を揃える目安など、必要に合わせてわかりやすい掲示物やレイアウトにしている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	床にテープを貼り遊ぶ空間を分けたり、机の配置で作業場を分けたり、活動や子どもたちの様子に合わせ配置している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	午睡スペースを個室として利用が可能			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	スタッフが多く参加できる日を選び月一でミーティングを行っている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングにて周知、ブラッシュアップしていく			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングや朝の申し送り時行っている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	第三者による外部評価は受けていない			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83%	17%	定期的に行っている	職員が一度に全員で参加することが難しいので細分化していきたい		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	HPに公表している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	83%	17%	利用開始時、その後半年ごと(必要に応じてもっと短期間)でアセスメント・面談を行い計画を作成している			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	計画作成時、ミーティングにて周知している			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画作成時、ミーティングにて周知している			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	適宜アセスメントツールを使い分け確認している			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインに沿い、ご家族やご本人の意向を踏まえ作成している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	粗方主になる職員が決め、他の職員交えて立案を行っている			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	日々試案し、子どもたちの好みをリサーチしながら行っている			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	特性や身につけたいスキルに応じて支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	毎朝の朝礼にて前日までの振りかえりを行い、当日の流れ・子どもの様子の確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	退社時間が不規則の為まとまった終礼は行っていないが、その日の振り返りは職員で行い翌日以降の朝礼にて情報共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	50%	50%	実施している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に一度行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	実施している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	関係機関と必要に応じて連絡を取り情報を共有している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	関係機関と必要に応じて連絡を取り情報を共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	関係機関と必要に応じて連絡を取り情報を共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	相談員との連絡は密にとっている	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	83%	17%	併設の放課後等デイサービスとの交流は頻繁にあるが、地域への参加は現状ない		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡帳、LINEや電話などで行っている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%	相談がある際には随時面談を行い、必要に応じて助言等を行っている	今後保護者コミュニティを作る予定あり	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	半年に一度の面談時に行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	実施している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心とし行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	現状実績はないが茶話会を計画中	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	管理者を窓口とし訪問及び電話などで迅速な対応に努める	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	日々のLINEや連絡帳にて発信を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付き書庫へ保管を行っている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	50%	50%	特性に合ったコミュニケーション方法を実施している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	現状実施なし	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	83%	17%	利用開始時に保護者への確認、それ以降は都度保護者へ確認し状況把握をしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者から医師から受けた指示を伺っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	実施している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約時説明を実施	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%	実施している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	17%	年に一度実施している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	現状実施なし	行う際には説明を行い個別支援計画書に記載したうえで行う	